

## 「STAT DASH グランプリ 2016」の受賞者のお知らせ ー統計データ利活用アプリケーション・アイデアコンテストー

総務省統計局・統計研修所及び独立行政法人統計センターは、統計データや統計 API を活用するアイデアを募集するコンテスト「STAT DASH グランプリ 2016」を開催しました。

69 作品の応募があり、厳正な審査の結果、総務大臣賞等 12 作品が決まりました。

### 1 概要

総務省統計局・統計研修所及び独立行政法人統計センターは、政府統計の総合窓口（e-Stat）をより使いやすくしてサービスの向上を図ること及び社会経済における政府統計データのより高度な活用の普及・促進を目的として、統計データや統計 API を活用したアイデアを募集するコンテスト「STAT DASH グランプリ 2016」を実施し、総務大臣賞、優秀賞及び敢闘賞を決定しました。

### 2 受賞作品

#### 【総務大臣賞】

##### <行政サービス開拓部門>

作品名：小中学生のための統計情報ポータルサイト「e-Stat Junior」の提案

受賞者：関西学院高等部数理科学部（代表：佐々木 雄司）

概要： 学習指導要領に基づいた学年別の推奨統計データを提供したり、小中学生が簡単に統計データを利活用できるように専門的な用語を使用しない、漢字にふりがなを付けるなど、統計学習をしやすいようにサポートする小中学生のための統計情報ポータルサイト「e-Stat Junior」の整備を提案する。

実際に統計を学習している高校生の視点で、統計学習をしやすい環境の整備を要求する大変有意義なアイデア

##### <データ利活用啓発部門>

作品名：オープンデータのためのオープンソース データビジュアライゼーション プラットホーム E2D3 (Excel to D3.js) の開発と E2D3 を用いたデータリテラシー教育事業の創造

受賞者：E2D3 ver. 0.7 開発チーム（代表：五十嵐 康伸）

概要： Excel で統計データ等を分かりやすく、グラフィカルに表示できるオープンソースソフトウェア「みんなで作るデータビジュアライゼーションプラットフォーム」を提供し、小学校から大学・企業までの様々な現場における、データリテラシー（必要なデータを見つける力、整理する力、理解する力）の向上を支援する。

広く普及している Excel を使用することで、「データって面白い」という観点から、データリテラシーを広めるといふ、今後が期待されるアイデア

## 【優秀賞】

### <行政サービス開拓部門>

作品名：JSON-statによる統計データ提供フォーマットの共通化  
受賞者：佐藤 英人

### <データ利活用啓発部門>

作品名：都道府県ごとの健康指標を可視化する web アプリケーション  
受賞者：AA to FR（代表：藤井 亮輔）

## 【敢闘賞】

### <行政サービス開拓部門>

・ 作品名：オンデマンド集計システムの整備  
受賞者：小野 正明

・ 作品名：eL-Stat(地方自治体の統計業務支援窓口)の構築  
受賞者：世界メッシュコード研究会（代表：佐藤 彰洋）

・ 作品名：Linked e-Stat  
受賞者：松澤 有三

・ 作品名：J-IdP for Innovation  
受賞者：板垣 真太郎

### <データ利活用啓発部門>

・ 作品名：統計 API 機能を活用した旅行・宿泊支援アプリケーション  
受賞者：世界メッシュコード研究会（代表：佐藤 彰洋）

・ 作品名：2025 年の日本型医療に向けた時間軸に着目したデータ分析と  
地域医療における活用  
受賞者：小池 麻美

・ 作品名：地方自治体の総合的パフォーマンス分析と改善目標を算出するア  
プリケーションのコンセプトについて（「SDGs(持続可能な開発目  
標)」が掲げる 17 の解決課題を参考）  
受賞者：中島 卓也

・ 作品名：e-Stat から DB 分析エンジン XView（クロスビュー）へのデータ  
転送・登録機能について  
受賞者：市民のミカタプロジェクト（代表：花谷 修一）

※ 各賞の詳細については、「STAT DASH グランプリ 2016」のサイトを御覧ください。

[http://www.e-stat.go.jp/api/event/result\\_statdash2016/](http://www.e-stat.go.jp/api/event/result_statdash2016/)

(参考資料) 「STAT DASH グランプリ 2016」について

(連絡先)

統計局統計情報システム課

担当：宗像補佐 並木最適化企画係長 河合官

電話：03-5273-1007（直通）

FAX：03-3203-8358

# - 統計データ利活用アプリケーション・アイデアコンテスト - STAT DASH グランプリ 2016



## 行政サービス開拓部門

**テーマ** 政府が次に作るならコレ!!!

政府が行う e-Stat を通じた統計データの提供について、ユーザにとって分かりやすく、使いやすく、そして便利をコンセプトに、「政府が作るべき」と提案したい Web システムまたはタブレット・スマートフォンアプリの画面、機能、統計 API の利用等の開発設計アイデアを募集します。

※受賞作品を始め応募されたアイデアを基に、総務省で提供サービスの実用化を検討します。

### 表彰

総務大臣賞	(副賞：賞金 30 万円)
優秀賞	(副賞：賞金 10 万円)
敢闘賞	(副賞あり)

## データ利活用啓発部門

**テーマ** なるほど!この活用は面白い!!

統計 API を使うなど、e-Stat から提供される統計データを加工、分析し、または他の観測データやオープンデータ、ビッグデータと組み合わせ、利用者に「なるほど!これは面白い!」と思わず言わせてしまうような斬新なデータ活用のアイデアを募集します。

※受賞作品は、総務省等の Web サイトを通じて一般に公開し、アイデアを広く周知します。

### 表彰

総務大臣賞	(副賞：賞金 10 万円)
優秀賞	(副賞：賞金 5 万円)
敢闘賞	(副賞あり)

### 応募期間

平成 28 年 2 月 17 日 (水) 必着

### 応募方法

応募方法は、以下のサイトをご覧ください。

<http://www.e-stat.go.jp/api/event/statdash2016>

### 審査方法

書面選考を行った後、平成 28 年 3 月 5 日 (国際統計オープンデータ・デー) に、審査員によるプレゼンテーション審査を開催の上、受賞作品を選定します。

### 審査員 (予定)

石戸 奈々子	NPO 法人 CANVAS 理事長、慶應義塾大学准教授
白井 真粧美	株式会社ダイヤモンド社 週刊ダイヤモンド編集部副編集長
小谷 祐一朗	株式会社おたに代表取締役 CEO
工藤 卓哉	アクセンチュア株式会社アナリティクス日本統括
西内 啓	株式会社データビークル取締役
廣松 毅	情報セキュリティ大学院大学教授

### 実施主体

主催：総務省・独立行政法人統計センター  
協賛：(公財)統計情報研究開発センター、(一財)日本統計協会  
コンテスト開催事務局：(株)三菱総合研究所